

製品名: TIMP-2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18951**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	TIMP2
別名	TIMP2; Metalloproteinase inhibitor 2; CSC-21K; Tissue inhibitor of metalloproteinases 2; TIMP-2
遺伝子 ID	7077.0
SwissProt ID	P16035
免疫原	抗血清はヒト TIMP2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

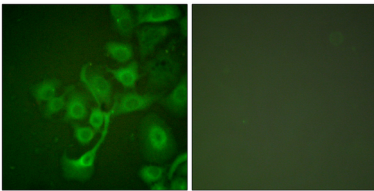
この遺伝子は TIMP 遺伝子ファミリーのメンバーです。この遺伝子ファミリーによってコードされるタンパク質は、細胞外マトリック

スの分解に関与するペプチダーゼ群であるマトリックスメタロプロテアーゼの天然阻害剤です。メタロプロテアーゼに対する阻害作用に加え、コードされるタンパク質はTIMPファミリーメンバーの中で、内皮細胞の増殖を直接抑制する能力において独自の役割を有しています。その結果、コードされるタンパク質は、血管新生因子に反応する静止期組織の増殖を抑制し、細胞外マトリックスのリモデリング中の組織におけるプロテアーゼ活性を阻害することにより、組織の恒常性維持に極めて重要であると考えられます。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能:メタロプロテアーゼ(コラーゲナーゼなど)と複合体を形成し、それらを不可逆的に不活性化します。MMP-1、MMP-2、MMP-3、MMP-7、MMP-8、MMP-9、MMP-10、MMP-13、MMP-14、MMP-15、MMP-16、およびMMP-19に作用することが知られています。、PTM:TIMP2の活性はジスルフィド結合の存在に依存します。、類似性:プロテアーゼ阻害剤I35(TIMP)ファミリーに属します。、類似性:1つのNTRドメインを含みます。、

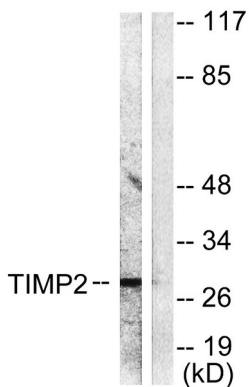
研究分野

血栓症; 内皮メディエーター/調節因子; 心血管; 血管新生; 接着/ECM; マトリックスメタロプロテアーゼ; TIMP; シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞外マトリックス; ECM 酵素; TIMP1/TIMP2; がん; 浸潤/微小環境; 血管新生; ECM 酵素; TIMP; がん; 細胞生物学; タンパク質分解/ユビキチン; プロテアーゼ阻害剤; メタロプロテアーゼ阻害剤

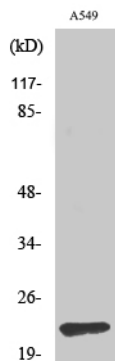
画像データ



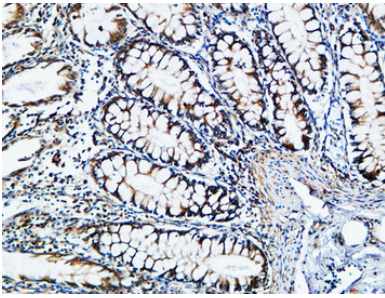
TIMP2抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



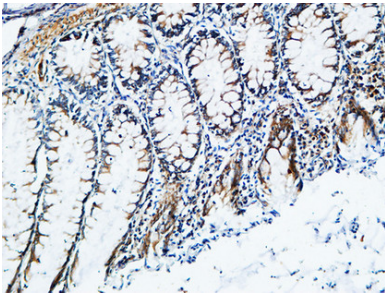
TIMP2抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



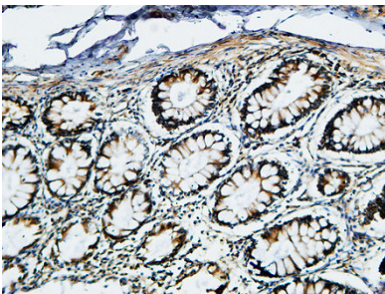
TIMP-2ポリクローナル抗体(1:1000希釈)を用いた各種細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は1:20000に希釈した。



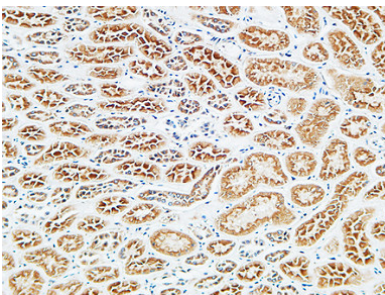
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



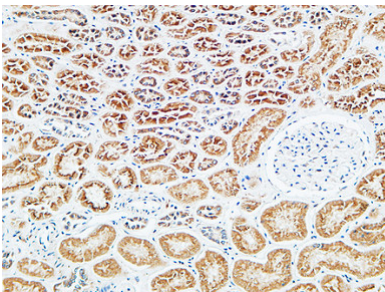
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



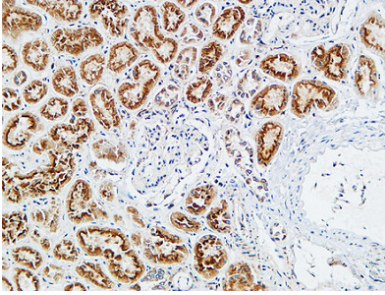
パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を抗原賦活化に使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°、一晚)。2、高圧高温 EDTA (pH8.0) を使用して抗原賦活化した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、30 分)。